

# ソロクリート HS

## THOROCRETE HS

### 道路・床補修用超速硬モルタル

ソロクリートHSはポルトランドセメントと骨材およびグラスファイバー補強材、混和剤と粉末ポリマーからなるプレミックス製品で、水のみを混合して使用する超速硬モルタルです。

ソロクリート HS は道路・橋・工場床・滑走路・飛行場エプロン・駅プラットフォームのコンクリート補修用に開発された製品で、補修後短時間で通行が可能です。

#### 特長

- ◆ 常温(20℃)で2時間後に交通可能になります。
- ◆ 耐久性・耐候性・耐摩耗性に優れています。
- ◆ 凍結融解・塩害・霜などに高い耐久性があります。
- ◆ 1成分のため取り扱いが容易で、品質が安定した補修材です。
- ◆ コンクリートと同様な水蒸気通過性を有しています。
- ◆ セメント材料で環境にやさしい材料です。

#### 用途

- ◆ 道路、橋梁などのコンクリート床版補修
- ◆ 工場・倉庫のコンクリート床補修
- ◆ 飛行場滑走路・エプロン、プラットフォームなどのコンクリート欠損部補修
- ◆ 本材料の施工面へ仕上げ材(アスファルト舗装、床材)の施工が可能

#### 物性

試験項目		測定値	試験項目	測定値	
単位容積質量 (kg/m <sup>3</sup> )		2,150	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	2時間	4.0
可使時間(分)		8~22		1日	5.0
凝結性	始発(分)	10		7日	7.0
	終結(分)	14~45		28日	13.0
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	1時間	12.0	引張強度 (N/mm <sup>2</sup> )	1日	2.5
	1日	30.0		28日	6.6
	7日	46.0	接着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	28日	2.5 (コンクリート破壊)
	28日	59.0			

#### 仕様

配合		練上り量	1m <sup>3</sup> 当り 標準使用量
ソロクリートHS	水		
25kg	2.8~3.3L	約 13L/缶	1,920kg(77 缶)

## 施工方法

### 下地処理

1. 劣化部分は健全なコンクリート面が露出するまで除去してください。
2. コンクリート補修端部に目地切りをおこなってください。(巾 10mm、深さ 10mm)
3. ソロクリート厚さが 10mm 以上確保するように下地調整をおこなってください。
4. 表面の塗装、オイル汚染、レイタンスなどの接着不良の原因になるものは取り除いてください。
5. 劣化したコンクリートのはつりはウォータージェットやグリッドブラストをおこなってください。
6. 鉄筋の腐食部や錆を除去し、防錆プライマーを塗布してください。

### 混合

1. ソロクリート 25kg に対し水 3L 使用して混合してください。温度条件により水量を 2.8～3.3L の範囲で調整してください。練り混ぜは機械練りをおこなってください。
2. 最初にボンディングスラリーを使用します。ボンディングスラリーはソロクリート HS 仕上げ材料より 10%程度の水量を増加して使用してください。

### 施工

1. 躯体が霜で覆われている時や、凍結している時には施工しないでください。
2. 温度が 5℃以下であったり、施工後 24 時間以内に 5℃以下に下がると予想される場合は、施工を延期してください。
3. 湿潤下地面に下塗り(ボンディングスラリー)をソロブラシ(硬めのブラシ)やデッキブラシで十分に擦り込んだ後、直ちにソロクリートを塗りつけてください。
4. 塗り厚は 10mm～50mm を目安としてください。50mm 以上、100mm 以下の厚みが必要な場合は、豆砂利(5～15mm) 12.5kg をソロクリート HS 粉体(25kg)に混入してください。

### 養生

1. 気温の高い時や、風が強く施工表面が乾燥し易いときにはポリスチレンシートなどで表面を覆って養生してください。
2. 硬化時間は施工環境温度や湿度などにより異なります。

## 取扱い上の注意事項

1. 本製品は水性のため、凍結させないでください。
2. 取扱いにあたっては防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋などを着用してください。
3. 目に入った場合は、洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
4. 皮膚に付着した場合は、水洗し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
5. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ吐かせた後、専門医の診察を受けてください。
6. その他、詳細はMSDSを参照ください。

## 荷姿

25kg/缶